南相馬市

http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/8,26886,39,353,html

南相馬市 市民意識調査

調査結果

2015 年 9 月

南相馬市復興企画部企画課

復興企画部　企画課

企画係／復興推進係／帰還支援係

〒975-8686　福島県南相馬市原町区本町二丁目27（西庁舎2階）

電話　0244-24-5358（企画係／復興推進係）0244-24-5223（帰還支援係）

FAX　0244-23-2511

e-mail　kikaku@city.minamisoma.lg.jp

Ⅰ 調査概要

1．調査の目的

本市では、未だ原発事故による影響が大きく、除染の問題や風評被害などへの対策をはじめ、地震や津波の被害により居住地域への帰還の目処が立たないまま避難生活を送る市民など、様々な地域課題を抱えている。そのような状況下で、本市の抱える課題を整理・分析するとともに、今後の南相馬市について住民の意向を把握し、新しい魅力的なまちづくりを進めるための基礎資料として活用することを目的とし、調査を実施した。

2．調査期間

平成 27 年 6 月 17 日（水）～平成 27 年 7 月 5 日（日）

3．調査対象

本市に住民登録をしている 18 歳以上の市民のうち、無作為に抽出された 3,000 人

4．調査方法

郵送による配布・回収

5．回収状況

配付数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②／①
3,000	1,357	1,356	45.2%

6．調査結果の見方

（1）N（number of cases）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。

（2）回答の構成比は百分率であらわし、小数点第２位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。また、回答者が２つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。

（3）図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

Ⅱ 調査結果の総括

1．生活の不安・心配

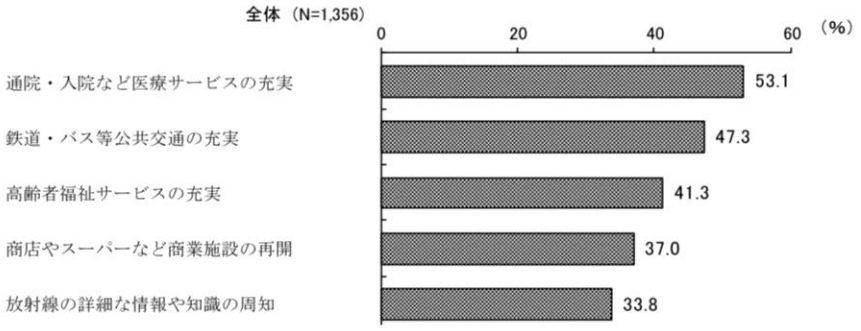
市民の心配としては、健康や医療に関する事柄が増加。

	今回調査		前回調査	
1位	体調面や健康面（放射線以外）	47.9%	放射線による人体への影響	51.8%
2位	放射線による人体への影響	45.1%	体調面や健康面（放射線以外）	47.3%
3位	医療・福祉サービス	42.0%	医療・福祉サービス	42.1%
4位	賠償・補償金の問題	29.0%	賠償・補償金の問題	30.6%
5位	生活資金の確保	25.4%	生活資金の確保	26.8%

生活で抱えている不安や心配について前回調査と比較すると、前回トップ項目であった「放射線による人体への影響」が約７ポイント減少している。これにより、「体調面や健康面（放射線以外）」がトップ項目となっており、また「医療・福祉サービス」は前回調査とほぼ同様の割合となっている。このことから、市民の心配事が放射線による影響から、健康や医療に徐々に移行していることがうかがえる。

2．生活改善に必要な施策

生活改善の施策としては「医療の充実」がトップ、次いで「公共交通の充実」。

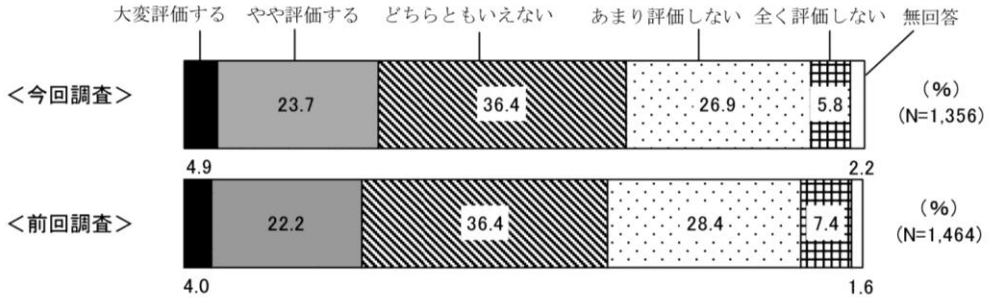


※上位５項目

日常生活の改善に必要な施策について、「通院・入院など医療サービスの充実」が 53.1%と最も多く、次いで「鉄道・バス等公共交通の充実」（47.3%）となっている。「鉄道・バス等公共交通の充実」は今回調査で新設した項目だが、トップ項目である「通院・入院など医療サービスの充実」に次いで回答が多くなっており、市民の公共交通へのニーズの高さがうかがえる。

３．復興取組の総合評価

≪高評価層≫が約３ポイント上昇。復興に関する評価が昨年度よりも高い。

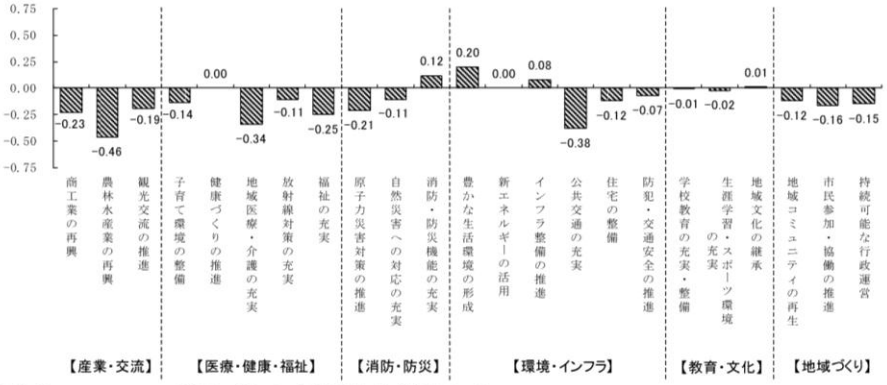


南相馬市の復興への取り組みに対する評価は、「全く評価しない」（5.8%）、「あまり評価しない」（26.9%）を合わせた《低評価層》は全体の約３割を占めており、「大変評価する」（4.9%）と「やや評価する」（23.7%）を合せた《高評価層》を上回っている。

前回調査と比較すると、《低評価層》が約３ポイント減少しているのに対し、《高評価層》が約２ポイント上昇しており、市民の復興に関する総合的な評価が昨年度よりも高まっていることがわかる。

４．各施策の評価

消防・生活環境・インフラ・地域文化継承の評価が高く、農林水産業・医療・公共交通の評価が低い。



各施策の評価について、項目ごとに評価点を算出した。

この結果、評価点がプラスになった項目は、「消防・防災機能の充実」、「豊かな生活環境の形成」、「インフラ整備の推進」、「地域文化の継承」であり、これらの項目は評価が高いことがわかる。

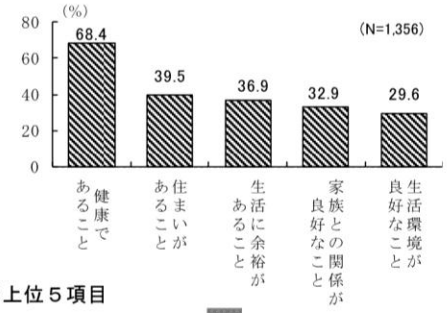
一方、これ以外の項目は評価点が０点あるいはマイナスとなり、特に「農林水産業の再興」、「地域医療・介護の充実」、「公共交通の充実」は大きなマイナスで評価が低くなっている。

※評価点の算出については、各施策の評価について、選択仕事に以下の点数を付与し、その合計を回答数（無回答を除く）で除することで算出した。

「大変評価する」：２点、「やや評価する」：１点、
「どちらともいえない」：０点、
「あまり評価しない」：-1 点、「全く評価しない」：-2 点、「無回答」：点数の付与はしない

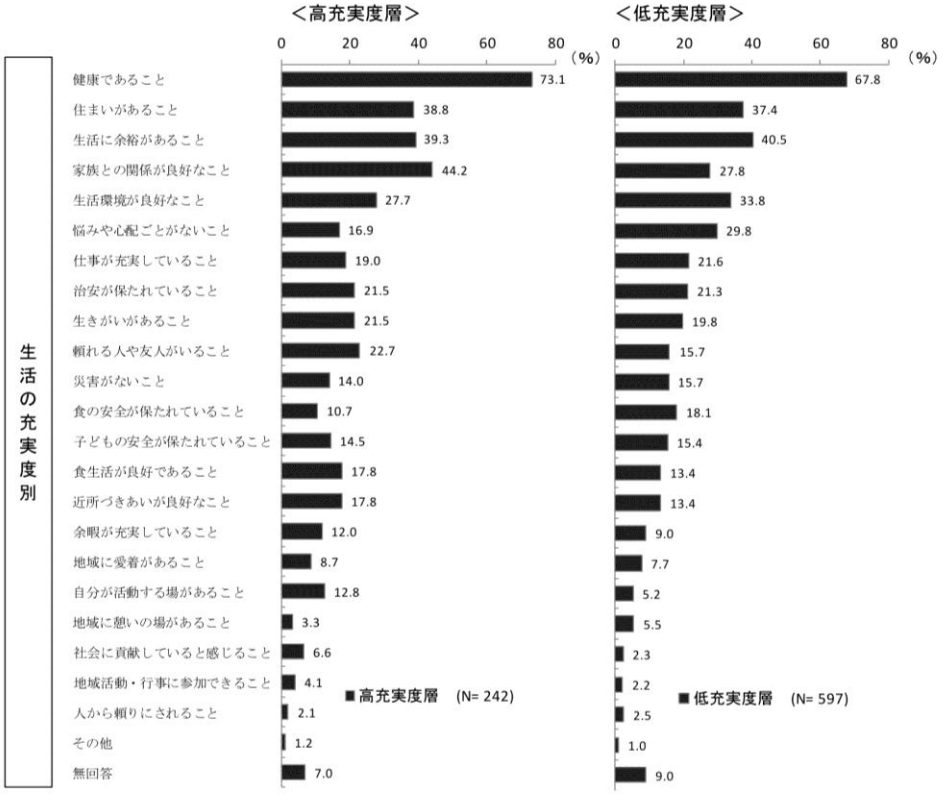
7．充実した生活を送るための条件

充実した生活を送るために必要な条件は「健康であること」が最も多い。
《高充実度層》は「家族との関係が良好なこと」、「頼れる人や友人がいること」、「自分が活動する場があること」を生活の充実のために重視している。



※上位５項目

各項目を
生活の充実度別にみると…



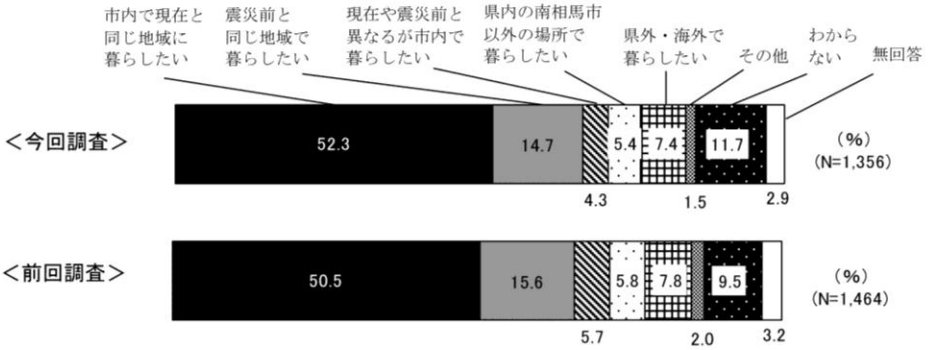
充実した生活を送るために必要な条件については、「健康であること」が 68.4%と最も多く、次いで「住まいがあること」（39.5%）となっている。

生活の充実度別にみると、《高充実度層》は「家族との関係が良好なこと」、「頼れる人や友人がいること」、「自分が活動する場があること」が《低充実度層》に比べ多くなっている。このことから、生活が充実している層はこれらの条件を生活の充実のために重視していることがわかる。

一方、《低充実度層》は「悩みや心配ごとがないこと」や「食の安全が保たれていること」が《高充実度層》に比べ多くなっている。

５．今後の定住意向

市内での定住希望者は全体の約７割。「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」人が微増。

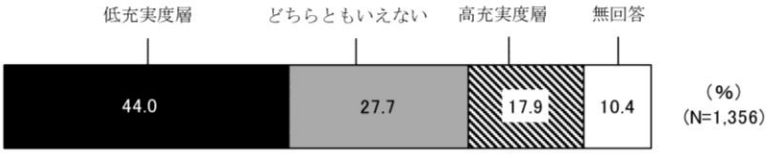


今後の南相馬市での定住意向について、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」との回答が 52.3%と最も多く、「震災前と同じ地域で暮らしたい」（14.7%）、「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」（4.3%）を合わせると、市内での定住を希望する人は全体の約７割となっている。

前回調査と比較すると、「震災前と同じ地域で暮らしたい」及び「現在や震災前と異なるが市内で暮らしたい」がそれぞれ約 1 ポイント減少し、「市内で現在と同じ地域に暮らしたい」が約 2 ポイント増加しており、現在の場所での定住意向がやや高くなっている。

６．生活の充実度

生活の充実度は《低充実度層》が４割以上で、《高充実度層》を大きく上回る。



生活の充実度について、「１（全く充実していない）」から「10（とても充実している）」の 10 段階でたずねたところ、「１（全く充実していない）」から「４」を合わせた《低充実度層》が全体の４割以上を占めており、「７」から「10（とても充実している）」を合わせた《高充実度層》を大きく上回っている。